

事業名	富士山世界遺産センター		
細事業名		財務コード	
担当部課室	県民生活 部	世界遺産富士山 課	普及企画 担当 (内線) 1094

## I 事業の概要

実施期間	始期 H28 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	指定管理者:(株)ピカ		
事業の目的	だれ(何)を対象に 来館者	その対象をどのような状態にして 世界遺産富士山の顕著な普遍的価値に対する理解を深める。	結果、何に結びつけるのか 県民文化の発展への寄与と観光の振興に資する。
	事業の内容 主にH30年度 1 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 2 施設の利用に関する助言指導 3 広報・利用促進に関する業務 ○展示事業(入館者499,818人(北館418,801人、南館81,017人)) 北館 ・自然及び構成資産についての展示 ・ガイドンスシアター ・インフォメーション 南館 ・富士山の文化的価値についての展示 ・富士山ライブラリー ○主催事業 ・富士山総合学術調査研究事業の実施、研究紀要の発刊 ・企画展「吉田口登山道と御中道」、「吉田口登山道の騷々馬場と流鏑馬」の実施 ・世界遺産富士山講座(8回)の開催(199人) ・公開発表会(貞観の大噴火をめぐって)の開催(106人) ・教育旅行(校外学習、遠足)の受入(280校、21,050人)及び教育プログラムの実施 ・環境保全学習講座の開催(42回)		
根拠法令等	山梨県立富士山世界遺産センター設置及び管理条例		

## II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	29年度	30年度		31(R1)年度	R2年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	①旅行会社への営業活動	70	70	81	80	80	活動指標 ①前年度の実績を踏まえ、同等件数を設定 ②前年度の実績を踏まえ、同等件数を設定
	②イベントでのPR	18	18	18	18	18	
	活動指標達成率(実績値/目標値)	%					データの出典等 事業計画書、年度報告書等
成果指標	①入館者数	429,246	447,000	499,818	630,000	630,000	成果指標 ①業務計画書に記載された目標入館者数 ②利用者アンケートによる「満足」「やや満足」の合計100%を目指す
	②利用者満足度	98.77%	100%	97.86%	100%	100%	
	成果指標達成率(実績値/目標値)	%					データの出典等 業務計画書、年度報告書
決算額又は予算額(千円)	116,231		133,572	129,260	133,399	133,399	成果指標によらない成果 富士山への巡礼路等に関する調査研究を進め、その成果を企画展や富士山講座、研究紀要等を通じて、県民等に伝えている。 県内外の小中高等学校等の教育旅行を受入れ、効果的なプログラムにより、富士山の普遍的価値に対する理解を促進している。
所要時間(直接分)	時間		時間	時間	時間	時間	
所要時間(間接分)	時間		時間	時間	時間	時間	
所要時間計	時間		時間	時間	時間	時間	
人件費コスト 単位:千円 (@2,114円×所要時間)							
うち一財額	116,231		133,572	129,260	133,399	133,399	

## III これまでの事業の見直し・改善状況

H28年度から利用者数の増加を図るため、観光商談会への参加や旅行会社等への営業活動を行い、団体利用者の増加を図った。また、マスコミだけでなくSNSを通じた情報発信に注力し、カフェのメニューも新聞等に取り上げられた。今年度からは、南館の入館料の無料化や、近隣の駅から無料のシャトルバスを運行するなど、更なる入館者数の増加策を展開している。教育旅行の受入に際しては、富士山の顕著な普遍的価値に関する理解を深めてもらうため、小学生を対象としたガイドンス映像を作成し、今年度から来館時に活用するなど、教育プログラムの充実を図っている。また、展示内容の理解を深める学習教材としてワークシートを提供することにより、教育旅行における学習効果の進展とともに、富士山の普遍的価値の理解促進に取り組んでいる。

#### IV 活動量と成果の判断(平成30年度の業績評価)

(1)事業は予定された活動量を上げているか(「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)

数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 ※数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
H30年度活動指標の達成率		成果指標に掲げた入館者数を実現するための活動として、旅行会社への営業活動とイベントでの施設のPRを指標としているが、旅行会社への営業活動については目標70回に対し81回、イベントでのPRについては目標どおりの18回と、予定どおりの活動量を上げている。
	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)    b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)    c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)  
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2)事業は意図した成果を上げているか(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)

数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方 ※必ず記載すること
H30年度成果指標の達成率		入館者数については、当初設定した目標の447,000人を超える499,818人を記録しており、意図した成果を上げている。また、満足度も「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計が97%を超え、非常に高く、意図した成果はほぼ上げている。
	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)    b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)    c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)    d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

#### V 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説明	IV以外の判断項目
有	H30年度までの事業について、当初の目標とした成果をほぼ実現できており、富士山が有する信仰の対象及び芸術の源泉としての顕著な普遍的価値の普及の拠点として、また、観光振興に資する施設としての役割を果たしている。 R1年度から新たな指定管理者となり、南館の入館料が無料となるなど、更なる入館者の増加が見込まれる中で、これまで以上に高い利用者満足度を実現するための取り組みに努める必要がある。	b

・「IV以外の判断項目」の欄

a: 目的の達成    b: 新たな課題への対応    c: 対象の変化    d: ニーズの変化    e: 法律・制度の改正    f: 民間等実施    g: 市町村等へ移管  
h: 外部委託    i: 経費節減    j: 類似事業と統合・連携    k: 所要時間の縮減    l: プロセスの改善    m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) ※行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価

見直しの必要性	説明	IV以外の判断項目
有	今年度から入館料を無料化したことにより南館の入館者が大幅に増加しているが、さらに多くの入館者を獲得できるよう、SNS等による情報発信や旅行者等に対する営業活動、教育旅行の誘致などの取り組みを強化していく。 また、南北両館を一体的に見学してもらうような人の流れを作り出すため、看板の設置等により来館者の誘導を図っていくほか、北館来館者に対する南館への誘導の声かけや、来館者スタンプを南館に設置するなど、事業を南館を中心に実施することで、来館者の誘導を図っていく。また、南館無料化チラシの観光案内所や観光業者への配布を強化していく。 併せて、館内の展示解説について内容の充実を図るなど、来館者に対する情報提供のあり方を検討し、利用者満足度をより一層高めていく。	b

・「IV以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

#### VI 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等 ※「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること
実施方法等の変更	SNS等による情報発信や旅行者等に対する営業活動、教育旅行の誘致などのさらに多くの入館者を獲得するための取り組みについては、指定管理者と協力しながら実施している。 また、南北両館を一体的に見学してもらうための、看板の設置や、北館来館者への声かけや、来館者スタンプの南館設置などは実施済み。南館無料化チラシの観光案内所や観光業者への配布も、これまで以上に拡大済み。 展示解説については、R2年度当初予算で、内容の充実と情報提供のあり方を検討し、専門家に委託して分かりやすい解説文の作成を行っていく。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止(施設については「譲渡」)」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、V見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること  
・見直しが無い場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること

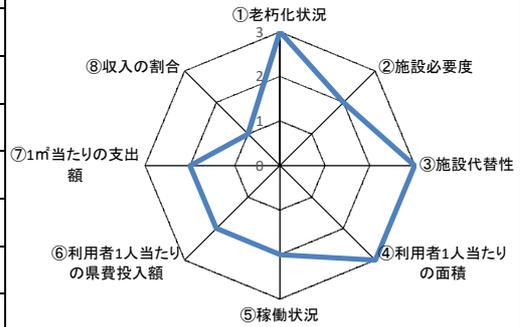
施設評価シート

基準日： H31.3.31

施設名	富士山世界遺産センター	所管課室	世界遺産富士山課
大分類	I 県民利用施設	中分類	1文化・社会教育系施設
		小分類	①文化施設
		施設番号	2

＜分析・評価＞

指標	指標の解説	評価
①老朽化状況	経過年数÷目標使用年数(80年) ※複数棟は主建物で算定 1:62.5%以上 2:37.5%以上62.5%未満 3:37.5%未満	3
②施設必要度	評価検討シート・必要性該当項目 1:3項目以下 2:4~5項目 3:6項目以上又は設置義務	2
③施設代替性	代替性の有無(当該施設がないと事業が実施できないか) 1:有 3:無	3
④利用者1人当たりの面積	総延床面積÷利用者数 1:上位3割(高) 2:中位4割 3:下位3割(低)	3
⑤稼働状況	利用コマ数÷利用可能コマ数 1:40%未満 2:40%以上60%未満 3:60%以上	2
⑥利用者1人当たりの県費投入額	収支差額÷年間利用人員 1:上位3割(高) 2:中位4割 3:下位3割(低)	2
⑦1㎡当たりの支出額	総支出÷総延床面積 1:上位3割(高) 2:中位4割 3:下位3割(低)	2
⑧収入の割合	総収入÷総支出 1:30%未満 2:30%以上100%未満 3:100%以上	1



(注)各評価は相対評価であり、「1」であっても必ずしも悪いというわけではない。

項目	分析・評価 (施設所管課)
施設の安全性の評価	南館：開館して間もないこともあり、施設の安全性について問題は無い。 北館：築20年が経過しているが、施設利用者に直接影響するような老朽箇所は確認されていない。 総じて、安全性に問題はなく、施設を維持していくことが適切である。
施設の必要性、事業の必要性等の評価	世界文化遺産である富士山の保全や普遍的価値の理解促進、県民文化の発展、観光の振興に資することを目的に設置されたものである。 事業は広く県民のみならず県外来館者に対しても実施されているものであり、構成資産が所在する複数の市町村及び静岡県と連携する必要があることから、当該事業には県の関与が必須である。また、人口動向・社会構造が変化したとしても、富士山の普遍的価値に変わりはないことから、今後とも施設及び事業の継続していく必要性は高い。
施設の有効性の評価	施設の利用者数は、H28年度257,269人、H29年度429,246人、H30年度499,818人と多くの方に利用されており、年々増加傾向にある。 また、利用者アンケートによる満足度も高く、概ね有効に活用されているといえる。
上記項目の分析・評価を踏まえた課題事項など特記事項	R1年度から南館の入館料を無料化するなど、更なる利用者数の増加に向けた取り組みも行っている。

＜評価結果＞

項目	評価																
施設評価 今後の方向性	<p>＜評価分類＞</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>低</td> <td>中</td> <td>高</td> </tr> <tr> <td>必要性・利用状況 (ソフト)</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>施設の性能(ハード)</p> <p>(注)分類は相対的なものであり、「低」であっても必ずしも施設が不要というわけではない。</p>		低	中	高	必要性・利用状況 (ソフト)			●								
		低	中	高													
必要性・利用状況 (ソフト)			●														
所管部局等 分析・評価結果を踏まえた総合的な評価、課題事項に対する対応策など																	
今後の施設方針																	
《庁内整理》 今後の施設方針																	

## 施設評価シート(検討シート)

基準日: H31.3.31

施設名	富士山世界遺産センター			所管課	世界遺産富士山課		
大分類	I 県民利用施設	中分類	1文化・社会教育系施設	小分類	①文化施設	施設番号	2

## &lt;評価項目関係指標&gt;

築年数	築20年	次期更新予定年度	2078年	指定管理導入	○	指定管理料	27,000千円
延床面積	3,413.98㎡	うち執務室面積	166.68㎡	うち会議室面積	52.61㎡	うち貸室面積	85.76㎡
年間利用者数	499,818人	施設稼働率	41.6%	類似施設の有無	—	近隣施設の有無	○
職員数	43人	うち指定管理職員数	22人	年間経費	133,572千円	年間収入	0千円
残使用年数	60年	更新費用概算	861百万円	更新までの保全費用	—	保全費用概算(50年間)	1,011百万円
利用者1人当たり県費	267円	1㎡当たり利用者数	146.4人	職員1人当たり執務室面積	3.9㎡	職員1人当たり会議室面積	1.2㎡
未利用施設の有無	—	1㎡当たり支出額	39,125円	収入割合	0.0%		

## &lt;過去の検討状況等&gt;

項目	内容
過去10年間に於ける部局内でのあり方検討、行政評価アドバイザーによる外部評価の概要、また、文化財指定など特別な事情等の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開館して間もない施設であり、あり方検討、行政評価アドバイザーによる外部評価等の実績はない。</li> <li>・当館は富士箱根伊豆国立公園内に設置されており、自然公園法の規制の対象となる。</li> <li>・併せて、世界遺産(構成資産)を保護するために設けている緩衝地帯内に立地している。</li> </ul>
他都道府県における同種・類似施設の設置状況	静岡県において、平成29年12月に富士山世界遺産センターを設置。

## &lt;評価検討項目&gt;

※書ききれない場合は、行の高さを適宜調整すること(行の挿入はしない)

評価項目	該当の有無	評価内容
安全性	施設の老朽化度は問題ないレベルか(築年数及び施設の状態)	○ 南館:築3年、北館:築20年 北館において、執務室の雨漏りや窓ガラスのくすみがあるが、施設利用者に直接影響するような老朽箇所については確認されていない。
	施設は耐震性を有しているか	○
	施設の点検は適切に実施されているか	○ 法定点検、自主点検実施者:指定管理者における施設管理責任者 実施状況:適切に実施されている 点検結果記録の保管場所:世界遺産センター北館(指定管理者事務室)
	施設の修繕・改修等は適切に実施されているか	○ 平成28年度は北館照明関係の交換工事等を実施 平成29年度は中庭及び展望デッキの排水機能強化を実施 平成30年度は南館回廊落下防止ネット取り付け工事・北館外壁タイル補修工事を実施
	その他特記事項	—
必要性	法律上、設置義務がある施設か(根拠法令、内容)	×
	法律上、実施義務がある事業か(根拠法令、内容)	×
	設置目的に即した事業が実施されているか	○ ・各種イベント等を実施し、世界遺産の普遍的価値の普及啓発に努めている。 ・県内各地の観光案内を実施しており、観光の振興に寄与している。
	当該施設でなければできない事業か	○ 世界遺産富士山の普遍的価値を総合的に発信し、保全管理の中心的役割としての機能を有する施設は、当該施設のみである。
	県が関与しなければならない事業か	○ 世界遺産富士山の構成資産は複数の市町村に存在し、また、静岡県も同じく構成資産を擁していることから、市町村間及び静岡県との連携・調整が必要不可欠であり、当施設が行う富士山の保全(両県センター学芸員交流等による調査・研究の発展や他地域との比較による調査の深化)や価値の普及啓発(静岡県や各市町村の構成資産の周遊促進等により富士山の価値への理解をより一層深める等)は県が関与しなければならない事業である。
県内に同様の機能の施設がないか	○ 構成資産が複数の県・市町村にまたがる世界遺産富士山に関して、総合的な情報発信を行える施設は当該施設以外にない。	

## 施設評価シート(検討シート)

基準日: H31.3.31

施設名	富士山世界遺産センター			所管課	世界遺産富士山課		
大分類	I 県民利用施設	中分類	1文化・社会教育系施設	小分類	①文化施設	施設番号	2

	設置目的は達成していないか	○	設置目的である世界遺産富士山の価値の普及啓発及び観光振興は、その時代の人々に対して継続的に行っていく普遍的な性質のものであり、引き続き普及に取り組んでいく必要がある。
	今後の人口動向、社会構造及び社会情勢の変化に伴う利用者需要に変化はないか	△	人口動向・社会情勢が変化したとしても、富士山は国内有数の観光地で、国内外から多数の来訪者が訪れる場所であること、普遍的価値について変わるものではないことから、利用者需要に大きな変化はないと考える。
	新たなニーズが発生しているか(新たなニーズと対応状況)	×	
	廃止・統合等の場合、補助金返還が発生するか	×	
	施設がない場合、どのような対応が可能か(どのように事業を実施するか)	—	・企画展、調査研究等ソフト事業の実施 ・イベントへの出展による世界遺産富士山普及啓発活動の実施 ※本施設については、多くの方々に富士山の顕著で普遍的な価値に対する理解を深めていくために、展示物の活用が主体となっていることから、施設(ハード)は必須となる。
	その他特記事項	—	
有効性	施設の規模は適正か(過大または過小でないか)	○	施設の目的である、富士山の価値の普及啓発を行うために必要となるスペースが確保されており、施設規模は適切である。
	貸施設の稼働状況(稼働率60%以上:○、40%以上60%未満:△、40%未満:×)	△	北館研修室及び富士山ステーション稼働率:41.6%
	利用が少ない施設・部屋、時間帯、曜日、時期はないか	△	北館研修室に関しては、土日の利用が少ない。
	事業効果の把握が適切に行われているか	○	来館者数、来館者の国内・国外、個人・団体などの属性別に集計を行っている。来館者への利用者満足度等に関するアンケートを実施し、事業効果の把握に努めている。
	事業の効果が出ているか	○	施設の利用者満足度について高い評価を得ており、調査研究や各種普及啓発活動実施により、効果を挙げている。
	特定の団体が占有していないか	○	
	広く県民に利用されているか、利用者の属性	○	北館 入館者:418,801人、うち国内277,883人、国外140,918人 南館 入館者:81,017人、うち国内71,844人、国外9,173人
	未利用施設・部屋はないか	○	
	他施設(機能)の統合(複合化・集約化)は困難か	○	富士山の普遍的価値の情報発信を行い、保安全管理の中心的役割を担う施設と位置づけており、他施設の統合は困難である。
	年間の運営コストは適正か(改善点はないか)	△	施設運営費委託料は適正 ただし、指定管理者の運営経費に関して、2,000万円以上の赤字が発生していることを踏まえて、指定管理料を見直すとともに、今後、誘客促進や運営経費の効率的な執行に努めていく。
	その他特記事項	—	

※該当の有無:該当:○、概ね該当:△、非該当:×

# 施設カルテ

## 1 施設概要

基準日: H31.3.31

施設名	富士山世界遺産センター				所管課	世界遺産富士山課	
大分類	I 県民利用施設	中分類	1文化・社会教育系施設	小分類	①文化施設	施設番号	2
設置年月日	平成28年4月1日	建築年月日	平成10年6月15日 (築20年)	改築年月日	平成27年12月15日(新築)		
所在地	南都留郡富士河口湖町船津字剣丸尾6663-1						
設置根拠法律	—			設置根拠条例等	山梨県立富士山世界遺産センター設置及び管理条例		
敷地面積	28,019.00㎡	借地面積	28,019.00㎡	借地元	山梨県(恩賜県有財産)	借地契約満了日	平成31年3月31日
財産区分	行政財産	施設形態	単独	耐用年数(目標使用年数)	80年	次期更新予定年度	2078年
建物規模	南館:RC 地上2階、北館:RC 地上2階			駐車場台数	103台	建築面積	2,879.98㎡
延床面積	3,413.98㎡	うち執務室面積	166.68㎡	うち会議室面積	52.61㎡	うち貸室面積	85.76㎡
建設費	1,667百万円	地方債残高	—	償還(年/年)	—	改修・修繕履歴の有無	無
設置目的	富士山が有する信仰の対象及び芸術の源泉としての顕著な普遍的価値に対する理解を深め、もって県民文化の発展に寄与するとともに、観光の振興に資するため、富士山世界遺産センターを設置する。						
主な施設内容(定員、部屋数等)	南館:展示室、富士山ライブラリー(図書・資料コーナー)、富士山ステーション(多目的ホール)、機械室、事務室、トイレ等 北館:展示コーナー、事務室、受付・ホール、売店、外部トイレ、研修室、レストラン、休憩スペース、屋上展望広場等						
主な業務内容・実施事業	施設管理、広報・利用促進、観光情報案内等 【管理対象施設】 南館:展示室、富士山ライブラリー(図書・資料コーナー)、富士山ステーション(多目的ホール)、機械室、事務室、トイレ等 北館:展示コーナー、事務室、受付・ホール、売店、外部トイレ、研修室、レストラン、休憩スペース、屋上展望広場等						
管理運営形態	指定管理	指定管理者	(株)ピカ(R1.4~)			利用料金制の有無	有
利用料金	無料(R1.4~)						
開館日数	365日	利用時間	1/1~6/30 8:30~17:00 7/1~9/30 8:30~18:00 10/1~12/31 8:30~17:00		休業日	北館無休 南館毎月第4火曜日	
主な利用者	県民、日本人旅行者、海外からの旅行者						
年間利用者数	499,818人	施設稼働率	41.6%	職員数	43人	うち指定管理職員数	22人
年間経費	133,572千円	うち指定管理料	27,000千円	年間収入	0千円	未利用施設の有無	無
残使用年数	60年	更新費用概算※	861百万円	更新までの保全費用※	—	保全費用概算(50年間)※	1,011百万円
目的外使用・貸付等	富士山憲章推進会議 H30/4/1~H31/3/31						
類似施設	—			近隣施設	富士山科学研究所 河口湖フィールドセンター ふじさんミュージアム		

※:BIMMSIによる概算



施設名	富士山世界遺産センター
-----	-------------

4 建物部位・設備情報(長寿命化対象建築物)

建物名称	区分	種別	内容	有無	仕様等	未使用状況	点検実施の有無	修繕等履歴の有無	修繕等の内容	修繕等年度	予算額(千円)	
富士山世界遺産センター北館	建築	屋根	屋根防水+押さえコン	アスファルト防水	—							
			シート系防水		○	2割						
			屋根長尺金属板	金属板葺き	○	フッ素樹脂鋼板、8割						
			その他	スレート・かわら他	—							
		外壁	壁-タイル		○	(3割)外装タイル(石割肌風)						
			外壁仕上塗材		○	(7割)砂壁状吹付け材(アモコジョリット系等)						
			金属板		—							
			外部天井		○	アルミパネル						
		建具	外部建具	外部アルミ・ウレタン建具、外部鋼製建具	○							
			内部建具	内部鋼製建具、木製建具	○							
	自動扉		ステンレス製自動両開扉	○	YKKAP							
	ステンレス製建具		ステンレス製建具、鋼製シャッター	○	ステンレス製手摺パイプ							
	内部	内部仕上等	床仕上げ、壁仕上げ、天井仕上げ、内部種物	○	床:磁器タイル・ビニール床シート(防水)/壁:磁器タイル・砂壁状吹付け材・ビニールクロス/天井:アルミスバンドレル・EP塗装・ビニールクロス							
	電気設備	受変電	高圧	高圧受変電	○	3台/200KVA・75KVA・50KVA						
			発電・静止系電源	非常用発電	自家発電装置、ディーゼル機関等	—						
				交流無停電電源	無停電電源装置	—						
				太陽光発電		○	屋根斜め取り付け/京セラ/8.38kw					
		電力	電力	配管配線等	○	—						
			電線類	配線	○	—						
			制御盤、分電盤、OA盤		○	—						
			蛍光灯他	FL電球、HI電球、LED	○	—						
		通信・情報	中央監視	中央監視	—							
			LAN、電話、表示、映像、防犯等	電話交換機	—	○	NEC/ASPIRE UX					
	情報・出退表示装置			—	○	松下電気工業/97年式/WK-770B						
	放送(アンプ)			—	○	松下電気工業/97年式/WK-770B						
	時計設備			—	○	—						
	配管配線等			—	○	—						
	通信・情報(防災)	自動火災報知	—	○	松下電気工業/年式・型番不明							
	機械設備	空調設備	温熱源	ボイラー	○	日本無線工業/2010年式/DNNA-330P						
			冷熱源	吸収式冷温水機、冷凍機、冷却塔	○	ダイキン/95年式/UWAD2360B						
			空気調和機	パッケージ型、ユニット型、FCU	○	東冷工業/98年式/DVU-200/5.5kw						
			空気調和機(出力22kW以下)	ヒートポンプマルチパッケージ型空調機	○	ヤンマー/97年式/YME-LMD-B/冷房0.32Kw暖房0.31Kw						
			空気調和機(出力22kW超)	ヒートポンプマルチパッケージ型空調機 全室空調	—							
			全熱交換器、空気清浄装置		○	三菱電機/93年式						
			ポンプ、タンク、ダクト、配管		○	ポンプ:エバラ/96年式/GPA型・FSD型						
		換気設備	換気設備	送風機・ダクト	○	三菱電機/年式不明/EFシリーズ						
		排煙設備	排煙設備	排煙機	—							
		自動制御設備	自動制御		○	ヤマタケ/98年式						
	給排水設備	給排水	給水ポンプ		○	加圧給水ポンプ エバラ/96式/フレッシュャー3100						
			排水ポンプ		—							
			給水タンク		○	受水槽容量 呼称25㎡ 有効20㎡						
			浄化槽		○	浄化槽:積水プラントシステム/98年式/PFBS-25-10-N/人槽不明						
			給水管		○							
			排水管		○							
	衛生設備	衛生器具他		○	TOTO							
	消火設備	消火設備一式	屋内消火栓、スプリンクラー 屋外消火栓等	—								
	昇降機その他	エレベーター		○	日立ビルシステム/1台/11人							
	その他	舞台装置	体育館	—								

施設名		富士山世界遺産センター									
4 建物部位・設備情報(長寿命化対象建築物)											
建物名称	区分	種別	内容	有無	仕様等	未使用状況	点検実施の有無	修繕等履歴の有無	修繕等の内容	修繕等年度	予算額(千円)
富士山世界遺産センター南館	建築	屋根	屋根防水+押さえコン	アスファルト防水	-						
			シート系防水								
			屋根長尺金属板	金属板葺き	○	フッ素ガルバリウム鋼板=0.4 フラット葺					
			その他	スレート・かわら他							
		外壁	壁-タイル		○	(8割)せつ器室二丁掛タイル張(割肌・ハツリ混合)					
			外壁仕上塗材	複層仕上塗材、塗装壁他	○	(2割)2-FUE塗					
			金属板		-						
			外部天井		○	屋根同材・亜鉛メッキ鋼板補強版・木毛セメント版					
		建具	シーリング		○	目地コーキング					
			外部建具	外部アルミニウム建具、外部鋼製建具	○	アルミカーテンウォール(ステンカラー)・アルミ製サッシ					
	内部建具		内部鋼製建具、木製建具	○	-						
	自動扉		ステンレス製自動両開扉	○	寺岡オートドア						
	内部	ステンレス製建具	ステンレス製建具、鋼製シャッター	○	ステンレス製サッシ						
		内部仕上等	床仕上げ、壁仕上げ、天井仕上げ、内部雑物	○	防水モルタル金ゴテ下地・磁器質300角タイル張り・ビニル床シート・防水石膏ボード・ステンレス製床見切り等						
		受変電	高圧	高圧受変電	-						
		発電・静止系電源	非常用発電	自家発電装置、ディーゼル機関等	-						
	交流無停電電源		無停電電源装置	-							
	太陽光発電			○	屋根一体型 元日ビュティ/最大出力電力10.3kVA						
	電力	電力	配管配線等	○	-						
		電線類	配線	○	-						
		制御盤、分電盤、OA盤			○	-					
			蛍光灯他	FL電球、HF電球、LED	○	-					
				非常灯	○	-					
	中央監視	中央監視	中央監視装置	-							
		通信・情報	LAN、電話、表示、映像、防犯等	電話交換機	-						
				情報・出退表示装置	-						
				放送(アンプ)	○	パナソニック/2014年式/WK-EK110A/80					
			時計設備	-							
	通信・情報(防災)		配管配線等	○	-						
			自動火災報知	○	能美防災/2014年式/FAPJ105N-R-nL/nLT						
				○	TOMOE/2012年式/BH-810DMG/115Z						
				○	ヤンマー/2011年式/YNCP850J/18.8kw						
	空調設備	温熱源	ボイラー	○							
		冷熱源	吸収式冷温水機、冷凍機、冷却塔	-							
		空気調和機	パッケージ型、ユニット型、FCU	-							
		空気調和機(出力22kW以下)	ヒートポンプマルチパッケージ空調機	-							
		空気調和機(出力22kW超)	ヒートポンプマルチパッケージ空調機 全室空調	○	ヤンマー/2012年式/YZFPV800M/冷房80kw・暖房90kw						
		全熱交換器、空気清浄装置		○	ヤンマー/2011年式/YNCP850J/18.8kw						
	換気設備	換気設備	送風機・ダクト	○	三菱電機/年式不明/BFS-450TUA/1.15kw・BFS-40SUC/57W・BFS-210TUC/0.5kw・VD-20ZX9-C/42W・VD-15ZX9-C/13.5W・EX-20EH6/16.5W・V-141BZ/1250W・LGH-N65RX/355W・LGH-N50RX/270W・LGH-N25RX/115W・LF400X-F60/3kw 日本電興/年式不明/DV-225N/27W						
		排煙設備	排煙設備	排煙機	-						
	自動制御設備	自動制御		○	CO2制御 イーエムティ・パナソニック/2012年式 山清電気/2012年式						
		給排水設備	給排水	給水ポンプ	○	加圧給水ポンプ エバラ/2014年式/WP-1					
	排水ポンプ			-							
	給水タンク			○	受水槽容量 呼称16㎡ 有効12㎡						
	浄化槽			○	浄化槽:フジクリン工業/2014年式/PCN II-105C(MH500K)/121人槽						
	給水管			○							
	衛生設備	衛生器具他		○	TOTO						
		消火設備	消火設備一式		屋内消火栓、スプリンクラー 屋外消火栓等	-					
	昇降機その他	エレベーター		○	日立ビルシステム/1台/11人						
	その他	舞台装置	体育館	-							

施設名	富士山世界遺産センター
-----	-------------

### 5 運営状況(施設利用者数)

区分	実績					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
北館				205,910	364,301	418,801
南館				51,359	64,945	81,017
合計	0	0	0	257,269	429,246	499,818
特記事項	(実績値に大幅な増減がある場合、または、補足説明が必要な場合は、その内容を記載) 平成28年度は、平成28年6月22日から平成29年3月31日までの入館者数					

### 6 利用状況(施設稼働率)

施設稼働率	実績					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
全体				45.7%	42.7%	41.6%
特記事項	(実績値に大幅な増減がある場合、または、補足説明が必要な場合は、その内容を記載) H30は指定管理者の引き継ぎに伴い、3月は北館研修室が使用不可であったため。					

### 7 利用者満足度(施設全般の満足度)

利用者満足度	実績					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
「満足」「どちらかといえば満足」の割合				97.4%	98.8%	97.8%
特記事項	(実績値に大幅な増減がある場合、または、補足説明が必要な場合は、その内容を記載)					

### 8 収支状況(全体)

区分	実績					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収入の合計①				0	0	0
支出の合計②				113,639,154	116,230,140	133,571,479
収支差額(②-①)				113,639,154	116,230,140	133,571,479
年間利用人員③(人)				257,269	429,246	499,818
利用者一人当たりの県費投入額((②-①)÷③ ※2)				442	271	267
特記事項	(実績値に大幅な増減がある場合、または、補足説明が必要な場合は、その内容を記載) H28年度決算額により本課執行額と出先執行額の合計にて算定。ただし、施設の建設等に要した費用は除外					

施設名	富士山世界遺産センター
-----	-------------

9 収支状況(指定管理者)

区分		実績					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収入	施設利用料				12,926,710	13,402,600	16,171,970
	指定管理委託料				19,557,258	27,000,000	27,000,000
	その他				67,439,026	97,020,363	112,884,271
	収入合計(A)				99,922,994	137,422,963	156,056,241
支出	人件費				43,688,710	53,959,757	55,528,929
	県への納付金				0	0	0
	管理運営費				80,746,760	102,646,728	109,263,905
	うち外部委託費(B)				15,832,549	18,681,332	19,055,842
	支出合計(C)				124,435,470	156,606,485	164,792,834
収支差額(A-C)					△24,512,476	△19,183,522	△8,736,593
外部委託比率(B÷C)					12.7%	11.9%	11.6%
特記事項		(実績値に大幅な増減がある場合、または、補足説明が必要な場合は、その内容を記載)					

<關係資料>

1 管理運営経費

(1) 収入

項 目	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
行政財産使用料	0	0	0	0	0	0
雑入	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0

(2) 支出

項 目	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
報酬	0	0	0	25,342,849	26,857,035	29,420,408
給料	0	0	0	36,006,060	31,292,894	41,888,372
職員手当等	0	0	0	0	0	0
共済費	0	0	0	10,637,817	9,960,886	12,384,153
賃金	0	0	0	0	0	705,000
報償費	0	0	0	858,600	817,400	856,600
旅費	0	0	0	769,263	1,041,071	983,543
需用費	0	0	0	3,899,249	3,420,108	4,076,182
役務費	0	0	0	1,646,966	1,015,331	1,610,179
委託料	0	0	0	30,088,552	37,516,392	37,106,100
使賃料	0	0	0	385,804	430,125	580,138
工事請負費	0	0	0	0	0	972,000
備品購入費	0	0	0	1,586,694	1,453,798	576,904
補助金等	0	0	0	2,392,000	2,396,500	2,396,500
扶助費	0	0	0	0	0	0
公課費	0	0	0	25,300	28,600	15,400
合計	0	0	0	113,639,154	116,230,140	133,571,479

<関係資料>

1 管理運営経費

(1) 収入

項目	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
行政財産使用料				0	0					
雑入				0	0					
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 支出

項目	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
報酬										
給料										
職員手当等										
共済費										
貢金										
報償費										
旅費										
需用費										
役務費										
委託料				28,197,258	35,640,000	27,000,000				
使賃料				334,000	341,508	338,432				
工事請負費										
備品購入費				1,407,694						
補助金等										
扶助費										
公課費										
合計	0	0	0	29,938,952	35,981,508	27,338,432	0	0	0	0

<關係資料>

1 管理運営経費

(1) 収入

項目	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
行政財産使用料				0	0					
雑入				0	0					
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 支出

項目	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
報酬				25,342,849	26,857,035	29,420,408				
給料				36,006,060	31,292,894	41,888,372				
職員手当等										
共済費				10,637,817	9,960,886	12,384,153				
賃金						705,000				
報償費				858,600	817,400	856,600				
旅費				769,263	1,041,071	983,543				
需用費				3,899,249	3,420,108	4,076,182				
役務費				1,646,966	1,015,331	1,610,179				
委託料				1,891,294	1,876,392	10,106,100				
使賃料				51,804	88,617	241,706				
工事請負費						972,000				
備品購入費				179,000	1,453,798	576,904				
補助金等				2,392,000	2,396,500	2,396,500				
扶助費										
公課費				25,300	28,600	15,400				
合計	0	0	0	83,700,202	80,248,632	106,233,047	0	0	0	0

## 2 利用状況

### (1) 利用状況(施設稼働率)

算出方法	(平成30年度) 研修室: 利用日数/利用可能日数 会議室: 利用日数/利用可能日数 ※H30年度実績から記載						
	部屋名称	平日	土日祝日	午前	午後	夜間	合計
	北館研修室	72.6%	27.4%				33.8%
	富士山ステーション①(会議室)	週3日	週0日				49.0%
	全体						41.6%

### (2) 利用者満足度

項目	(1)実施時期 平成30年4月～平成31年3月 (2)実施方法 北館・南館それぞれに関して、来場者アンケートによる調査を実施 (3)回答数 北館:128人、南館:526人					
	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満		
①施設設備(展示品)の充実度	68.8%	29.7%	1.3%	0.2%		
②施設設備の整備状態	78.9%	19.7%	1.1%	0.4%		
③スタッフの対応	81.6%	18.0%	0.2%	0.2%		
④また利用(来訪)したいか	64.2%	31.0%	2.6%	2.2%		
⑤施設全般の満足度	71.8%	26.0%	1.6%	0.6%		
⑥各項目の平均	73.1%	24.9%	1.3%	0.7%	#DIV/0!	#DIV/0!
結果分析	利用者満足度に関する項目についてはおおむね良好であった					

組 織 図（平成30年4月1日現在）

※職員ではなく謝金対応

顧問	
顧問	

所長 (非常勤)	
-------------	--

事	副所長	行政
---	-----	----

所 属	富士山世界遺産センター				
正規職員	非常勤嘱託	22条職員	兼職	併任	計
7	13	1			21



事	リーダー 主査	行政
事	主事	行政
	非常勤嘱託	業務補助
	非常勤嘱託	富士山レンジャー

教員

事	リーダー 主幹	行政
技	学芸員	学芸員
	非常勤嘱託	学芸員
	非常勤嘱託	業務補助(司書)
	臨時職員	業務補助

教員

事	リーダー 主幹	教員
事	主事	行政
事	非常勤嘱託	研究
事	非常勤嘱託	行政

【凡 例】

教員

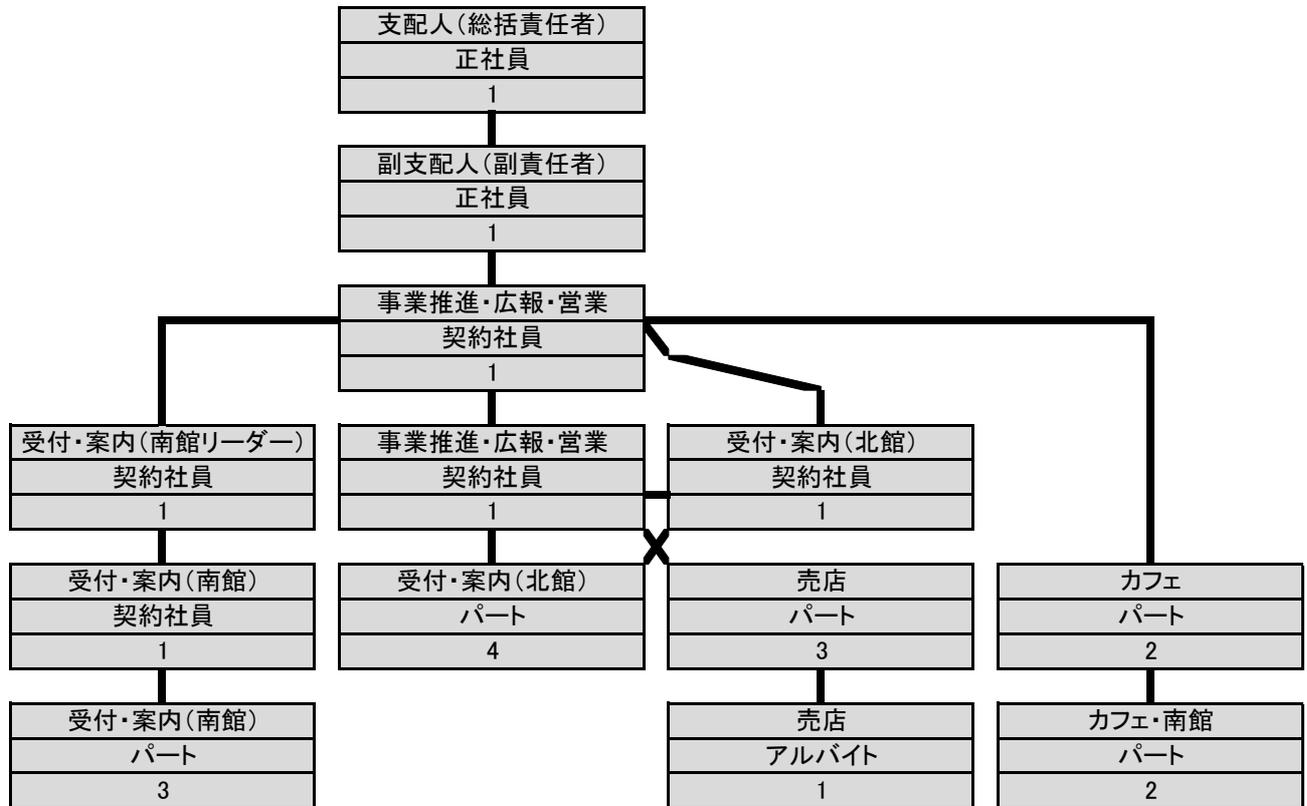
: 教員(教育委員会から派遣)

富士山憲章山梨県推進会議事務局

事務局員	
------	--

### 3 組織図等(指定管理者)

※組織図、職別、正規・非常勤別・合計人数が分かるように記載



#### 4 施設の利用状況

※利用人数のほか、施設の利用状況、活用状況等が分かる事項を記載

##### 【入館者数】

H28	6月22日～	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	6,474	30,752	31,025	28,045	30,359	30,682	17,477	22,868	24,609	34,978	257,269
北館	4,193	23,336	24,004	21,347	23,750	23,729	14,541	19,503	21,280	30,227	205,910
南館	2,281	7,416	7,021	6,698	6,609	6,953	2,936	3,365	3,329	4,751	51,359

H29	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	50,978	32,324	29,061	31,176	28,168	26,038	36,762	32,605	38,324	37,546	36,130	50,134	429,246
北館	45,692	25,703	23,211	24,264	21,083	20,169	29,130	26,929	35,941	34,833	32,769	44,577	364,301
南館	5,286	6,621	5,850	6,912	7,085	5,869	7,632	5,676	2,383	2,713	3,361	5,557	64,945

H30	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	52,830	40,874	35,986	43,269	45,595	39,020	43,421	35,728	34,546	34,556	35,684	58,309	499,818
北館	47,049	31,398	28,631	33,750	36,414	30,402	34,304	28,494	30,792	31,345	32,516	53,706	418,801
南館	5,781	9,476	7,355	9,519	9,181	8,618	9,117	7,234	3,754	3,211	3,168	4,603	81,017

## 富士山世界遺産センター 施設設立の経緯と現状等について

### ○センターの沿革

平成 24 年 5 月	山梨県富士山世界遺産センター(仮称)整備検討委員会設置
平成 25 年 3 月	山梨県富士山世界遺産センター(仮称)整備基本計画策定
平成 25 年 6 月 22 日	富士山の世界文化遺産登録決定
平成 26 年 8 月	建築・展示設計完了
平成 27 年 1 月	起工
平成 27 年 12 月	建築工事完了
平成 28 年 2 月	展示工事完了
平成 28 年 4 月	外構工事完了
平成 28 年 6 月 22 日	富士山世界遺産センター開館 指定管理開始(フジネット共同事業体)
平成 31 年 4 月 1 日	指定管理者更新((株)ピカ)

### ○設置目的

- ・富士山の魅力を広く世界に情報発信するとともに、富士山を未来に向けて守り伝える保全活動や、観光を中心とした地域振興、教育普及、交流の拠点とすることを目的に設置。

### ○現状と課題

- ・平成 28 年度の開設以降、入館者数は順調に増加してきており、南館の無料化を実施した今年度はさらに多くの入館者を見込んでいる。
- ・入館者アンケートを通じて把握した施設への満足度や富士山の文化的伝統の理解度も非常に高い水準で推移しており、設置目的に沿った施設運営が行われている。
- ・引き続き、イベント等での施設の PR に努めるとともに、年間を通じてイベントの開催等により、更なる入館者数の増加を図ることとしたい。

### ○将来的なビジョン

- ・本施設は、「信仰の対象と芸術の源泉」という世界遺産富士山の顕著な普遍的価値の普及を行うための主要な拠点と位置づけられており、引き続き多くの入館者を獲得できるよう誘客促進に取り組むとともに、ツアー造成等を通じて世界遺産富士山の顕著な普遍的価値を普及するよう務めていく。

主な事業の実施状況等(平成30年度)

事業名	期間	概要
富士山世界遺産マーケットの開催	4月30日～5月1日	誘客促進のためのフリーマーケット
富士山世界遺産マーケットの開催	5月12日～13日	誘客促進のためのフリーマーケット
開館記念日イベント	6月22日	富士山麓マルシェ、青い富士山カレーメが盛り版発売記念大食い大会
富士山世界遺産マーケットの開催	8月10日～11日	誘客促進のためのフリーマーケット
県民の日イベント	11月20日	パンとコーヒーに特化した富士山麓マルシェ
来場100万人達成記念イベント	11月13日	通算100万人目の入場者に記念品の贈呈
選べる富士山カレーツアー催行	12月26日～1月13日	クラブツーリズムと協力し、カフェ利用を組み込んだツアーを実施
正月限定抽選会の実施	1月1日～3日	南館入館者を対象にした抽選会を実施
富士山の日フェア開催	2月23日	南館無料開放、富士山麓マルシェ、お菓子詰め放題イベント

### 静岡県富士山世界遺産センターとの比較

名称	山梨県富士山世界遺産センター	静岡県富士山世界遺産センター
所在地	山梨県富士河口湖町船津6663-1	静岡県富士市宮町5番12号
開館日	平成28年6月22日	平成29年12月23日
敷地面積	約27,600㎡	約6,100㎡
延床面積	約3,200㎡	約3,400㎡
階数	地上2階	地上5階
構造	鉄筋コンクリート	鉄骨造
経費	H30: 133,572千円	H30: 229,111千円
人員	43名(県21名、指定管理者22名)	15名(県15名)
利用状況	H30: 499,818名	H30: 452,066名
展示内容	南館：文化を中心とした展示 北館：自然を中心とした展示	富士山の自然や文化について展示
外観		

外部委託費の内訳

外部委託費 計		平成28年度	平成29年度	平成30年度
		15,832,549	18,681,332	19,055,842
内 訳	南北両館展示保守料金	3,855,600	4,822,200	4,759,560
	南北両館施設保守料金	5,063,353	6,509,862	6,786,612
	清掃業務委託費	4,101,840	5,015,520	5,138,780
	植栽管理委託費	1,868,400	1,868,400	1,868,400
	除雪料金	240,458	162,000	79,920
	その他	702,898	303,350	422,570

世界遺産センター入館者数の状況

(平成18年度より年中無休)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成28年度	北館	30,488	16,462	13,798	23,336	24,004	21,347	23,750	23,729	14,541	19,503	21,280	30,227	262,465
	南館			2,281	7,416	7,021	6,698	6,609	6,953	2,936	3,365	3,329	4,751	51,359
	両館合計	30,488	16,462	16,079	30,752	31,025	28,045	30,359	30,682	17,477	22,868	24,609	34,978	313,824
平成29年度	北館	45,692	25,703	23,211	24,264	21,083	20,169	29,130	26,929	35,941	34,833	32,769	44,577	364,301
	南館	5,286	6,621	5,850	6,912	7,085	5,869	7,632	5,676	2,383	2,713	3,361	5,557	64,945
	両館合計	50,978	32,324	29,061	31,176	28,168	26,038	36,762	32,605	38,324	37,546	36,130	50,134	429,246
平成30年度	北館	47,049	31,398	28,631	33,750	36,414	30,402	34,304	28,494	30,792	31,345	32,516	53,706	418,801
	南館	5,781	9,476	7,355	9,519	9,181	8,618	9,117	7,234	3,754	3,211	3,168	4,603	81,017
	両館合計	52,830	40,874	35,986	43,269	45,595	39,020	43,421	35,728	34,546	34,556	35,684	58,309	499,818

世界遺産センター入館者数の国籍

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日本	北館	27,325	22,335	20,946	23,033	27,849	21,786	24,347	21,347	18,691	20,253	20,385	29,586	277,883
	南館	4,619	9,008	6,958	8,002	8,387	8,125	8,450	6,650	2,579	2,885	2,745	3,436	71,844
	両館合計	31,944	31,343	27,904	31,035	36,236	29,911	32,797	27,997	21,270	23,138	23,130	33,022	349,727
中国	北館	4,159	2,852	3,222	5,357	4,993	3,962	3,343	2,128	4,570	7,039	7,354	11,168	60,147
	南館	48	80	124	324	380	147	101	43	87	225	213	65	1,837
	両館合計	4,207	2,932	3,346	5,681	5,373	4,109	3,444	2,171	4,657	7,264	7,567	11,233	61,984
アメリカ	北館	1,006	640	699	540	335	402	630	367	126	142	116	1,273	6,276
	南館	149	7	58	75	33	22	79	62	23	27	1	96	632
	両館合計	1,155	647	757	615	368	424	709	429	149	169	117	1,369	6,908
香港	北館	353	281	310	253	374	312	157	235	209	105	100	102	2,791
	南館	29	10	11	84	37	24	29	42	18	13	22	9	328
	両館合計	382	291	321	337	411	336	186	277	227	118	122	111	3,119
シンガポール	北館	137	24	90	18	7	90	5	141	385	13	42	89	1,041
	南館	2	2	12	0	6	7	14	14	28	0	2	0	87
	両館合計	139	26	102	18	13	97	19	155	413	13	44	89	1,128
韓国	北館	89	0	125	3	3	0	17	33	63	115	89	120	657
	南館	2	0	4	0	0	23	6	15	52	0	6	22	130
	両館合計	91	0	129	3	3	23	23	48	115	115	95	142	787
台湾	北館	100	39	101	610	325	116	182	77	93	8	13	13	1,677
	南館	94	49	34	98	59	6	195	81	54	9	41	80	800
	両館合計	194	88	135	708	384	122	377	158	147	17	54	93	2,477
タイ	北館	155	46	8	2	2	12	41	90	175	85	28	273	917
	南館	16	13	5	8	3	7	25	26	9	4	0	39	155
	両館合計	171	59	13	10	5	19	66	116	184	89	28	312	1,072
マレーシア	北館	369	152	179	66	198	60	49	106	650	70	241	160	2,300
	南館	2	2	14	21	13	39	11	10	19	0	0	6	137
	両館合計	371	154	193	87	211	99	60	116	669	70	241	166	2,437
インドネシア	北館	147	45	101	38	64	7	95	4	114	94	90	264	1,063
	南館	0	0	10	7	1	7	0	0	30	7	0	0	62
	両館合計	147	45	111	45	65	14	95	4	144	101	90	264	1,125
混載ツアー	北館	7,912	2,931	2,222	2,724	1,032	2,353	3,142	2,551	5,257	3,111	3,692	7,279	44,206
	南館													0
	両館合計	7,912	2,931	2,222	2,724	1,032	2,353	3,142	2,551	5,257	3,111	3,692	7,279	44,206
その他	北館	5,297	2,053	628	1,106	1,232	1,302	2,296	1,415	459	310	366	3,379	19,843
	南館	820	305	125	900	262	211	207	291	855	41	138	850	5,005
	両館合計	6,117	2,358	753	2,006	1,494	1,513	2,503	1,706	1,314	351	504	4,229	24,848
合計	北館	47,049	31,398	28,631	33,750	36,414	30,402	34,304	28,494	30,792	31,345	32,516	53,706	418,801
	南館	5,781	9,476	7,355	9,519	9,181	8,618	9,117	7,234	3,754	3,211	3,168	4,603	81,017
	両館合計	52,830	40,874	35,986	43,269	45,595	39,020	43,421	35,728	34,546	34,556	35,684	58,309	499,818

## 施設の利用状況（富士山世界遺産センター）

平成30年度 北館2階研修室利用状況

月	団体名	日数	利用率	人数
4月	富士山クラブほか	5	16.7%	88
5月	筑波大学附属中学校ほか	17	54.8%	983
6月	公益財団法人 富士山をきれいにする会ほか	19	63.3%	578
7月	たちばな幼稚園ほか	12	38.7%	599
8月	クラブツーリズムほか	16	51.6%	482
9月	甲府市立伊勢小学校ほか	18	60.0%	1,096
10月	中央市立玉穂南小学校ほか	12	38.7%	470
11月	甲斐市立竜王北小学校ほか	4	13.3%	135
12月	富士山青木ヶ原エコツアーガイドライン推進会議	4	12.9%	110
1月	世界遺産ガイド会研究サークルほか	3	9.7%	77
2月	富士の国やまなし通訳案内士会ほか	3	10.7%	81
合計		113	33.8%	4,699

※3月は研修室の貸し出しを行わなかったため、利用可能日は334日

平成30年度 南館富士山ステーション利用状況

団体名	日数	
企画展（7月25日～9月24日）	61	
企画展（1月1日～2月25日）	55	
企画展設営等準備	14	
教育旅行 座学・ワークショップ	41	
富士山講座	2	
合計	173	49.0%

※南館は休館日12日のため、利用可能日数は353日

（北館研修室利用日数113日＋南館富士山ステーション利用日数173日） / （334日＋353日）  
41.6%